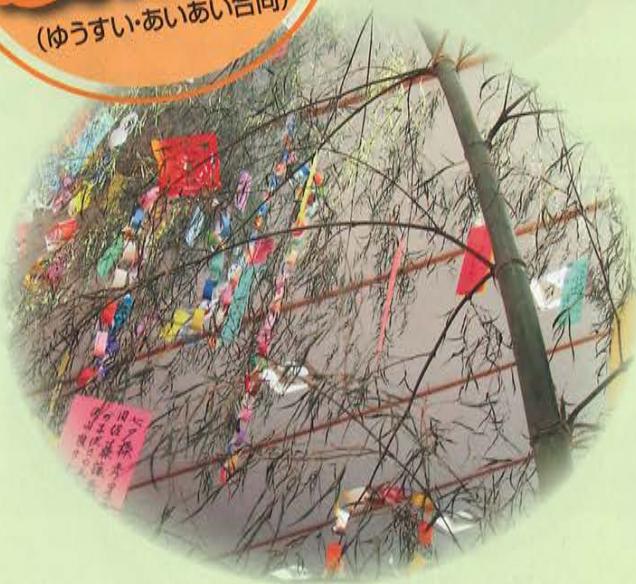


ゆうすい 第16号



7月12日
夏祭り

(ゆうすい・あいあい合同)



社会福祉法人 遊佐厚生会

- ◆ 特別養護老人ホーム ゆうすい
TEL 0234-71-2133 FAX 0234-71-2134
- ◆ 遊佐町老人デイサービスセンター あいあい
TEL 0234-71-2144 FAX 0234-71-2145
- ◆ ケアプランセンター ゆうすい
TEL 0234-71-2155 FAX 0234-71-2156
- ◆ 遊佐町地域包括支援センター ゆうすい
TEL 0234-71-2130 FAX 0234-71-2156

〒 999-8301 山形県飽海郡遊佐町遊佐字木ノ下2



施設長就任のあいさつ

今野 熊治郎

本年四月から「ゆうすい」の石原春雄前施設長の後任として、不肖私がその重責を担うこととなりました。前施設長はユニット棟工事を完成され大幅な利用者の増大を図ることも、高齢者の総合相談窓口として地域包括支援センター設置、ゆうすい全体の施設経営に手腕を発揮され、大きな業績を残してきました。

私はもとより微力ではありますが、皆様のご指導やご鞭撻を頂きながら一生懸命頑張って行きたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

早いもので、「ゆうすい」も平成十年四月に風光明媚な旧遊佐中学校跡地に開設してから十年という節目の年を迎えました。この間、介護保険法が施行され、介護に社会保険方式が導入され、事業運営も「行政による措置入所」から「利用者と施設のサービスの契約」と改められ、ユニット棟の増床、デイサービス利用者定員の増、地域包括センターの設置等、施設やその運営に当たる職員の増強を図り、また、地域の皆様はじめ、家族会、ボランティア等の皆様の協力でこの十年間の歴史を刻むことができました。

八月二十一日には遊楽里で町長はじめ多数の来賓を迎えたところです。

高齢者福祉の更なる発展のスタート年と位置づけ、利用者、地域の皆様及びここで働く人々から喜ばれる施設として、共に歩んで参りたいと思っておりますので、今後とも一層のご支援、ご協力を願い致します。

祝
敬老者

おめでとうございます

米寿



高橋 豊乃様



石垣 トキ様



渡会 敏様



高橋ヨシ子様

喜寿



沢田マサ子様



宮坂 豊見様





あいあいでのレクリエーション実践風景

坂本先生スーパー・バイズを終えて

★ゆうすいへのメッセージ★



熱い・強い・守る

生活介護研究所
代表 坂本宗久先生

漫画が大好きな私はもう五十歳になる、鉄腕アトムや明日のジョーそして宇宙戦艦ヤマト：なんといっても巨人の星。テレビや漫画の本は私の幸福の生活イメージの中にある、巨人・大鵬・卵焼き・インスタントラーメンは土曜日のお昼ごはんの定番だった。

母も父も若く働き盛りではつらつとしていた、ラジオからテレビの生活に移りました。マイカー・冷蔵庫・全自動洗濯機が普及した。しかしガンダムやスター・ウォーズの時代ではなく、まだ汗臭く、不便を当たり前と思っていた時代である。お年寄りもそういう時代の影響を受けてるので思えば明治のお年寄りはとにかく体力があり手先が器用で武骨ではあるが生きることに長けていたように思う…車ではなく当時は平気で三十キロくらいは歩いたと聞いている。大正のお年寄りはハイカラで知的好奇心にあふれている。昭和初期の人々は戦争を色濃く反映しているが文明が発達してきた分だけ明治のお年寄りよりは体力気力も劣るような気がする。

田舎のお年寄りと都会のお年寄りでも違いを感じる。例えば田舎の農村漁村のお年寄りのお昼寝は生活の中にあつたけど、都会のお年寄りにはお昼寝という習

慣は無かつたりする。お昼寝は労働と一緒に発生した生活習慣であるので、田舎のお年寄りは少し昼寝をすると元気を取り戻す。しかし都会の人は激しい労働をしないのでお昼寝という習慣はない…そういう人に

お昼寝をしていただくと夜眠れなくなる。ケアの中身は現在どんどん進化している。それは「その人らしく生活することを保障する」個別ケアの流れだと思う。人はそれぞれ違うと口では言えるがその違いをどう見つけるのかそしてケアするのかというのは容易ではない。近年の

小規模ケアはケアを受ける集団を小さくしてその人のことを解りやすくするということがスタートしている。五十人の個別ケアは難しいけど十人を個別に見ることは可能である。

その人が暮りしてきた生活をどう継続していくか…そのためにはその人をよく知る必要がある。そのための努力を続ける必要があると思うのだ。

**努力した者が全て報われると
限らん。**

**しかし成功した者は
皆すべからく努力してある。**

「努力しても成功するとは限らない、でも成功している人は必ず努力している」…いいフレーズですがこれも漫画「はじめの一歩」より作者 鶴川源二が頃いたフレーズです。

坂本先生との歩み

18年 1月 初来所

来所の度に各部署でテーマを設け、先生から指導していただいた他に、全職員対象にこのような内部研修を行いました。

- 18年 1月 初来所
- 19年 3月 「介護の基礎トランクス」
- 19年 7月 「おいしい食事ケア」
- 19年 9月 「入浴について」
- 19年 11月 「重度化予防の介護のあり方」
- 20年 4月 「職種をこえてフリートーク」
- 20年 5月 「排泄について」
- 20年 6月 「濱島先生による介護職員の接遇・マナー研修」
- 20年 7月 「全国の仲間は今～2008 ユニットケア学会より～」
- 20年 8月 「介護技術」

約3年半にわたる、スーパー・バイズが終了



異動



池田 寿子さん
平成20年4月より
介護員（月光園から）



池田 敦子さん
平成20年4月より
介護員（月光園から）

新規採用



渡部美津子さん
平成20年1月より
介護員



鈴木 美樹さん
平成20年4月より
介護員



佐々木綾子さん
平成20年4月より
介護員

ゆうすい十周年記念講演会並びに記念式典



ゆうすい十周年記念講演会並びに記念式典、祝賀会

祝賀会が八月二十一日(金)に鳥海温泉遊楽里大ホールにて行われました。

登山家・岩崎元郎氏の記念講演が行われ、鳥海山は明峰であり高山植物では日本屈指の山であること、ご自分が山登りを始めた経緯や登山が健康に与える効果などについて講演していただきました。

記念式典では、町長や議会議長、家族会会長の方々から祝辞を賜り、ボランティア等で協力していただいた十五団体と二個人に梅津理事長より感謝状と記念品が贈られました。

祝賀会では、ゆうすい職員による大黒舞を披露し、これからもゆうすいの理念に基いて老人福祉に尽くすことを誓い、盛会に終える事ができました。ありがとうございました。



平成19年度

特別養護老人ホームゆうすい等決算報告

H19.4.1～H20.3.31 (単位：千円)

貸借対照表

資産の部		負債の部	
流动資産	163,049	流动負債	13,576
固定資産	1,349,858	固定負債	248,908
基本財産	1,150,080	負債の部合計	262,484
その他の固定資産	199,778	純資産の部	
		基本金	2,700
		国庫補助金等特別積立金	793,814
		その他の積立金	137,500
		次期繰越活動収支差額	316,409
		純資産の部合計	1,250,423
資産の部合計	1,512,907	負債・純資産の部合計	1,512,907

事業活動計算書

事業活動支出	474,779	事業活動収入	557,706
事業活動外支出	5,026	事業活動外収入	4,774
特別支出	36,339	特別収入	31,591
合計	516,144	合計	594,071
当期活動収支差額			77,927
前期繰越活動収支差額			320,982
その他の積立金取崩額			0
その他の積立金繰入額			82,500
次期繰越活動収支差額			316,409

※詳細については、ゆうすい事務室において閲覧できます。

ありがとう (敬称略)

平成20年3月1日～7月31日

ボランティア・慰問

- ・遊佐保育園
- ・石川会
- ・遊成会
- ・瀬音会
- ・琴遊会
- ・水玉の輪
- ・梅津 幸士
- ・奥山 和雄
- ・藤井 秀一
- ・小松裕一郎
- ・渋谷 久
- ・鈴木 縫
- ・ゆうとぴい
- ・民生児童委員会
- ・遊佐地区婦人会
- ・稻川地区婦人会

西遊佐地区婦人会

- ・八日町子供みこし
- ・パッチワークキルトクラブ
- ・ピースフル、ハート
- ・遊佐高校
- ・パチンコニューセンター

金品等寄贈

- ・小松 英太
- ・佐藤 慶蔵
- ・小田原静子
- ・藤原 容
- ・高橋 四郎
- ・菅原 賢三
- ・株ロイヤルネットワーク